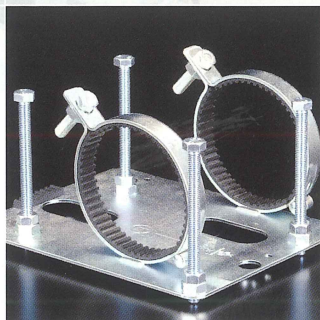
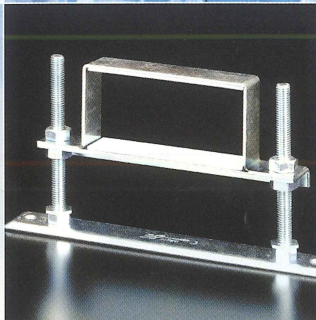
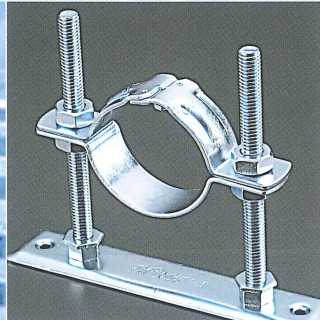


# KSI住宅・集合住宅

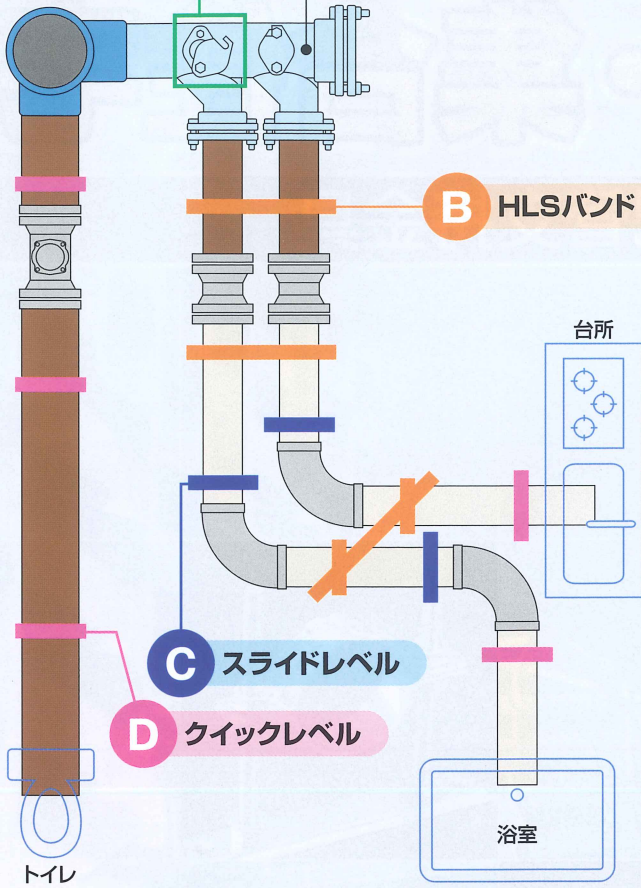
排水廻り用配管支持金具



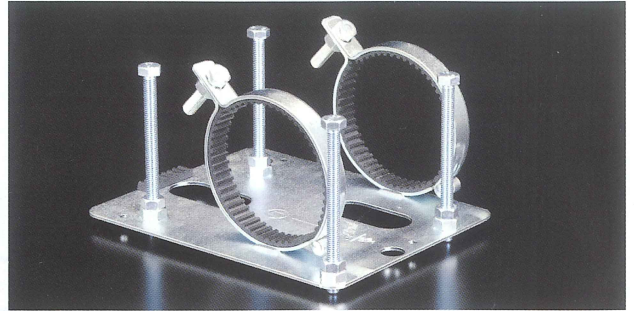
# KSI排水ヘッダ方式配管支持例

## A ヘッダ用サポートバンド

**JwKT排水ヘッダ**  
現在、都市再生機構のKSI住宅に採用されています。



## A ヘッダ用サポートバンド (Lタイプ・Rタイプ)



●ヘッダ用サポートバンドは、(株)ジェスの取り扱い商品です。 **特許出願品**

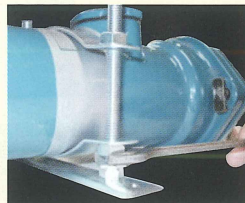
## ヘッダ用サポートバンドの6つのメリット

- ①排水ヘッダのレベル調整・支持固定が容易にできる。(L・Rタイプがあります)
- ②排水ヘッダのタイプ(2DH、3DH)に兼用で支持固定できる。
- ③サポートバンドは防振ゴム付なので防食テープ処理が省ける。
- ④4本のアジャストボルトで上面からのレベル調整が可能
- ⑤排水ヘッダより小さなコンパクト設計。
- ⑥サポートバンド底板に排水ヘッダ3点支持脚用貫通穴を設けています。

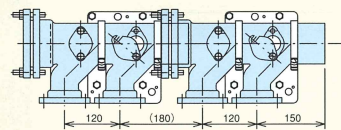
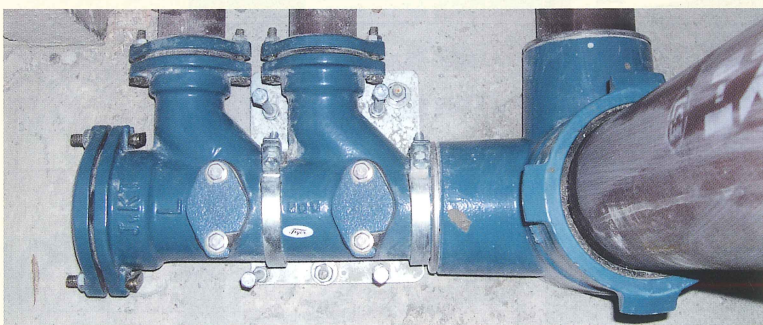
品名	入数
Lタイプ	15
Rタイプ	15



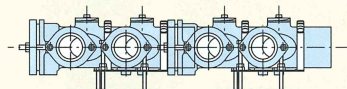
## 従来施工



- ①レベルバンドタイプではヘッダの支持・レベル調整が容易に行えない。
- ②レベルバンドタイプのスラブ固定はTピン、ビス等になる為、しっかりした固定ができない。
- ③排水ヘッダへの防食テープ巻き施工は大変である。



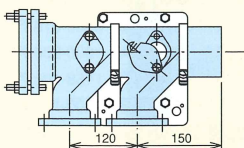
■4DH (R) 上面



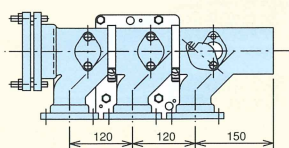
■4DH (R) 側面

サポートバンド使用数	
タイプ	使用数
2DH	1個
3DH	1個
4DH	2個
5DH	2個

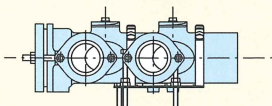
●電気垂鉛めっき仕上。



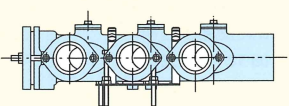
■2DH (R) 上面



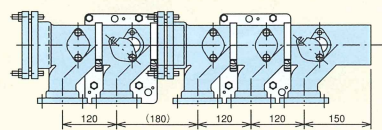
■3DH (R) 上面



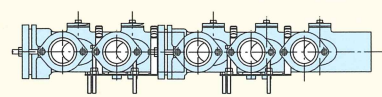
■2DH (R) 側面



■3DH (R) 側面



■5DH (R) 上面



■5DH (R) 側面

## B HLSバンド (GP・VP用／耐火二層管用)

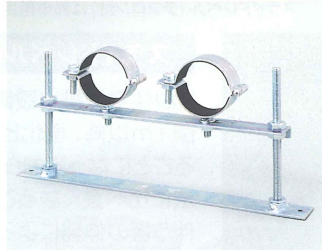


品名	サイズ	入数
2-HLS (GP・VP用)	50A (2連) × 120H	15
2-HLS (耐火二層管用)	50A (2連) × 150H	15
	50A (2連) × 200H	15
3-HLS (GP・VP用)	50A (3連) × 120H	10
3-HLS (耐火二層管用)	50A (3連) × 150H	10
	50A (3連) × 200H	10

- 電気垂鉛めっき仕上。
- HLSバンドの固定にはエヌピン(アルミ製) HA420SSが最適です。

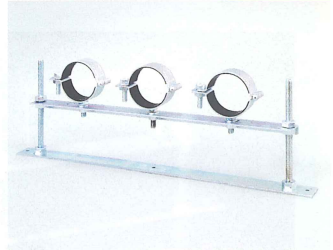
■2-HLS

特許出願品



■3-HLS

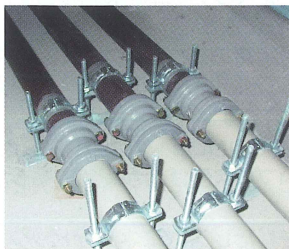
特許出願品



- HLSバンドは、(株)ジェスの取り扱い商品です。

### HLSバンドの7つのメリット

- ①排水ヘッダからの横枝管の均列配管が行える(50Aの120ミリピッチ)
- ②配管支持が交互になってしまう問題を解決。
- ③2本、3本の配管レベル調整を一度に行える為、従来より効率的なレベル調整が可能(2-HLSで1/2以下、3-HLSで1/3以下)
- ④エルボ曲がり部からの配管レベル調整が容易になった。
- ⑤ゴム付(CRゴム)なので鋼管の配管支持部の防食テープ処理が省ける。
- ⑥Tピン(アンカー・ビス)数、穴あけ施工の減少(2-HLSで2本、3-HLSで4本の減少)
- ⑦レベル調整位置がアングルベース部(パイプ下面)の為、従来同サイズのH寸法よりレベル範囲が広い。



#### 従来施工

- 支持スペースの問題から、交互になった配管支持



#### HLSバンド

- 整列されたきれいな配管支持

#### 従来施工

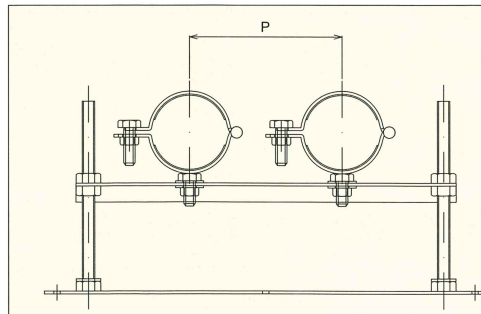


- ①排水ヘッダからの横枝管は50Aピッチ120mmになっており、配管支持の際に支持金具取り付けスペースの確保が容易に行えないことから、レベルバンドを交互に支持しなくてはならない。
- ②レベルバンドひとつずつレベル調整を行っていた。
- ③鋼管部の配管支持部には防食テープ処理をおこなっていた。



#### ポイント1

- 自由自在、回転式スライドバンド

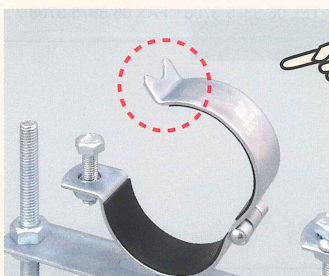


#### ポイント3

【スライド幅】

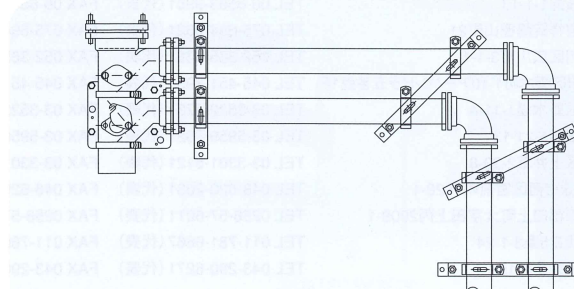
品名	P
2-HLS(GP・VP用)	120mm~170mm
3-HLS(GP・VP用)	120mm~150mm

注意：上記のP寸法は、並列時のスライド幅です。耐火二層管用は、スライド幅が異なります。



#### ポイント2

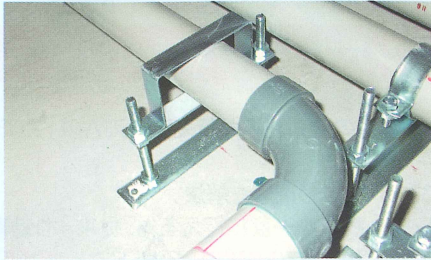
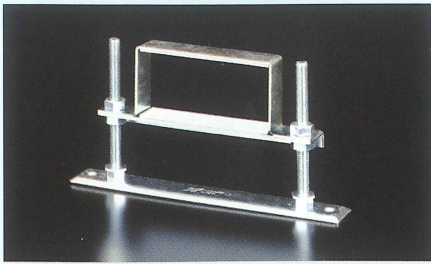
- ボルトを外さず、施工のできるハーフカットバンド



- 回転、スライドを利用したキレイな配管支持例

## C N-010751 スライドレベル(テフロン付) N-010750 スライドレベル

スライドレベル(テフロン付)は都市再生機構仕様品になっています。



### スライドレベルの特長・メリット

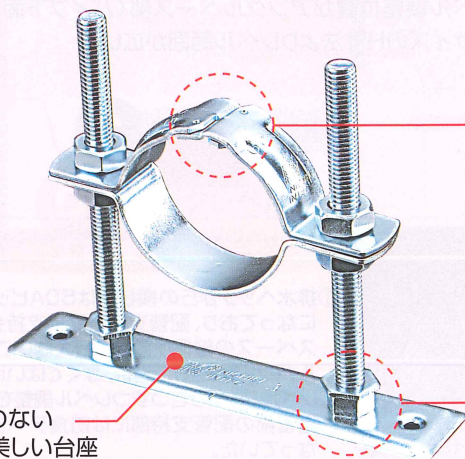
KSI住宅の排水設備の横枝管は防火区画1m以降、塩化ビニール管を使用することになっており、配管延長も従来工法に比べ長くなることから、温度変化に伴う管の伸縮による問題(管・継手の破損、音の問題)に対し、スライドレベルで配管をスライドさせることで伸縮代を管のたわみで吸収させる為の支持金具です。

また、スライドレベルの設置場所は温度変化の大きい浴室系、台所系で継手の下流側に設置する。

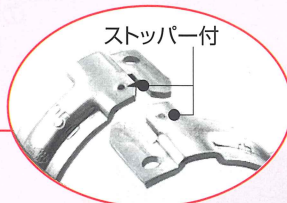
コード	品名	サイズ	入数
010751123	スライドレベル (テフロン付)	VP50A×120H	25
010751125		VP75A×120H	25
010751153	スライドレベル (テフロン付)	VP50A×150H	25
010751155		VP75A×150H	25
010751203	スライドレベル (テフロン付)	VP50A×200H	20
010751205		VP75A×200H	20
010750123	スライドレベル	VP50A×120H	25
010750125		VP75A×120H	25
010750153	スライドレベル	VP50A×150H	25
010750155		VP75A×150H	25
010750203	スライドレベル	VP50A×200H	20
010750205		VP75A×200H	20

●スライドレベルの固定にはエヌピン(アルミ製) HA420SSが最適です。  
●電気垂鉛めっき仕上。

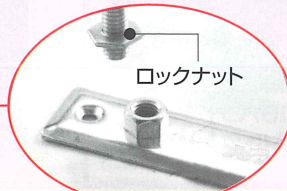
## D N-010720 クイックレベル(GP・VP用) N-010721 クイックレベル(耐火二層管用)



ねじれない  
強固な美しい台座



ナットとバンドを  
はずさず、施工ラクラク。



ボルトの取り外し  
自由自在。

### クイックレベルの5つのメリット

- ①バンドをはずさずナットを緩めるだけで配管作業が可能です。分解一切不要だから、ナットなどの部品がなくなる心配がなく、作業工程が従来の1/2以下になります。
- ②ボルトを自在に取りはずしができるため、アンカー固定時の施工を容易にし、全ネジを替えることにより、幅広いレベル調整に即対応できます。
- ③全ネジの揺れ防止にロックナットを採用。
- ④変形のないプレス受け台が配管をしっかりサポート。
- ⑤サラもみをしたビス穴にネジがピッタリ収まる。

●クイックレベルの固定にはエヌピン(アルミ製) HA420SSが最適です。  
●電気垂鉛めっき仕上。

### クイックレベルの作業工程



ナットを20mmくらいゆるめ、組式バンドを90°以上開きます。組式バンドなので、ナットやバンドの取りはずしは要りません。



パイプをのせ、組式バンドを組付け、あとはナットを締めるだけ。ストッパー付なので、ナットを締めつけば合わせバンドははずれません。

### サイズ

サイズ	対応品
40A×120H~100A×120H	GP、VP用/ 耐火二層管用
40A×150H~100A×150H	
40A×200H~100A×200H	

●他のサイズもご用意できます。



日栄インテック株式会社



0120-461189

本社 〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-57-8  
 特需課 〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-57-8  
 福岡営業所 〒816-0088 福岡市博多区板付1-11-29  
 大阪営業所 〒552-0001 大阪市港区波除1-1-13  
 京都営業所 〒601-8371 京都市南区吉祥院嶋塚山町21  
 名古屋営業所 〒451-0027 名古屋市中川区広川町3-1-1  
 横浜営業所 〒221-0057 横浜市神奈川区青木町1-10アーバンピラ五番館1F  
 東京営業所 〒136-0082 東京都江東区新木場1-11-4  
 東京営業所 〒114-0004 東京都北区堀船1-21-13  
 西東京営業所 〒167-0023 東京都杉並区上井草2-33-8  
 埼玉営業所 〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町1628-1  
 新潟営業所 〒959-1502 新潟県南蒲原郡田上町大字田上丙2909-1  
 札幌営業所 〒007-0865 札幌市東区伏古5条3-1-24  
 千葉営業所 〒264-0031 千葉市若葉区愛生町156

TEL 03-3894-0891 (大代表) FAX 03-3894-0099  
 TEL 03-3894-0092 (代表) FAX 03-3810-4784  
 TEL 092-474-9361 (代表) FAX 092-474-9623  
 TEL 06-6583-9981 (代表) FAX 06-6583-9003  
 TEL 075-694-6621 (代表) FAX 075-694-6620  
 TEL 052-365-6361 (代表) FAX 052-365-6362  
 TEL 045-451-3951 (代表) FAX 045-451-3967  
 TEL 03-3522-1731 (代表) FAX 03-3522-1730  
 TEL 03-5959-7921 (代表) FAX 03-5959-7922  
 TEL 03-3301-5121 (代表) FAX 03-3301-5120  
 TEL 048-620-2031 (代表) FAX 048-620-2032  
 TEL 0256-57-6011 (代表) FAX 0256-57-6012  
 TEL 011-781-6667 (代表) FAX 011-780-3012  
 TEL 043-290-6271 (代表) FAX 043-290-6272



株式会社 ジェス

本社/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-4-4  
 第五田中ビル8F  
 TEL 03-3263-1578 FAX 03-3264-4845